日本発達心理学会基礎研究分科会 主催
早稲田大学 人文研「行動・社会・文化に関する多角的アプローチ」共催

第 38 回 土曜研 × 心理学セミナーシリーズ

2026 / 11 / 21 (土) 15:30 ～ 17:00

33 号館 3 階 333 教室 ＋ オンライン開催 (zoom)

和解の進化社会心理学



大坪 庸介

東京大学　人文社会系研究科
教授

和解があるのは葛藤があるからです。何かもめごとがあったとき、加害者が謝り、被害者が赦す（あるいはお互いに自分の非を認め合い・赦し合う）と和解が成立します。対人間から集団間までさまざまなレベルで葛藤・紛争があることの裏返しとして、和解もまた普遍的な営みです。一見、まったく異なるレベルで起こる和解も、その適応的機能を考えると、価値のある関係をささいなもめごとで失わないようにすること、つまり関係修復が重要だということが見えてきます。その一方、相手からまたひどいことをされないようにすることも大事です。将来の搾取を回避しつつ、価値ある関係をいかにして修復できるのかという観点から、和解の進化社会心理学研究の知見をご紹介します。

▼参加登録▼

終了後には懇親会も予定していますので、お気軽にご参加ください。
事前に右の QR コードから参加登録をお願いします。
後日、参加用リンクをお送りします。

問い合わせ先：田中　雅史
masashitanaka@waseda.jp